

2007年度決算説明会



東洋紡  
取締役社長  
坂元龍三

# 目次

I

2007年度決算概況

II

2008年度見通し

III

05-07年度中期計画総括

IV

08-10年度中期経営計画

## I . 2007年度決算概況

## (1) 業績

- ・重点拡大事業で販売数量増も、原燃料高騰大で営業利益減益
- ・構造改革加速により、当期利益は47億円

	06年度	07年度	増 減		(08/2)予想
			金額	%	
売上高	4,267	4,314	+48	+1.1%	4,300
営業利益	304	271 *	-34	-11.0%	290
営業利益率(%)	7.1%	6.3%	-	-	
経常利益	253	210	-43	-16.9%	240
当期純利益	135	47	-88	-65.1%	45
EPS(円)	19.3	6.7	-	-	6.5
減価償却費	169	193	+23	+13.8%	
研究開発費	104	109	+5	+4.3%	
設備投資	158	225	+67	+42.7%	
EBITDA	474	463	-10	-2.2%	

\* うち残存簿価償却費負担増

(-17)

**(2) 特別損失****事業再編、統廃合など構造改革前倒し**

(億円)

		06年度	07年度
特別 損失	固定資産処分・売却損	27	23
	棚卸資産評価損	24	63
	構造改善関係費	27	71
	減損損失	8	15
	訴訟関連損失	8	20
	その他	23	70
	合 計	117	263

## (3) 財務指標

## 有利子負債さらに圧縮。財務体質の改善前進

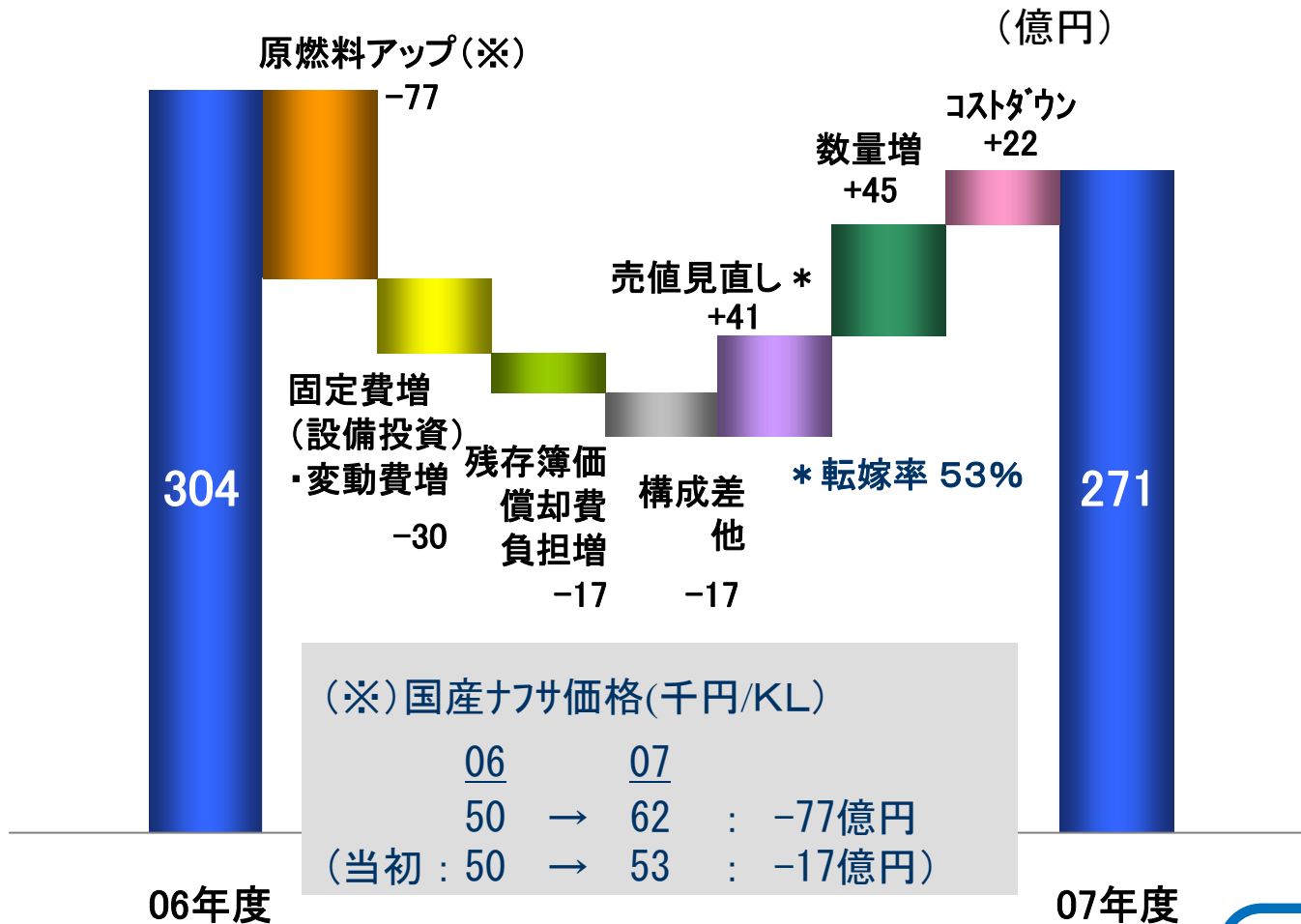
(億円)

	07/3末	08/3末	増減
総資産	5,132	4,945	-187
(営業利益ROA)	5.9%	5.5%	
自己資本	1,335	1,297	-39
(自己資本比率)	26.0%	26.2%	
有利子負債	1,942	1,788	-154
D/E レシオ	1.45	1.38	-
営業CF	271	233	-38
投資CF	-29	-102	-73
財務CF	-224	-179	+45

## (4) 営業利益増減要因分析

【06年度→07年度】

### 重点拡大事業で数量増も、原燃料高騰の影響大



## (5) セグメント別

## スペシャルティ事業は、売上高拡大するも減益

(億円)

	06年度		07年度		増減		07年度予想 営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
フィルム・機能樹脂	1,246	153	1,346	137	+100	- 16	150
産業マテリアル	744	59	761	55	+17	- 4	61
ライフサイエンス	326	56	340	51	+13	- 4	58
スペシャルティ計	2,316	268	2,447	244	+131	- 24	269
衣料繊維	1,496	44	1,425	38	- 71	- 6	36
その他	454	25	442	26	- 12	+1	20
消去・全社	-	-32	-	-37	-	- 5	-35
合 計	4,267	304	4,314	271	+48	- 34	290



## (6)セグメント別 ① フィルム・機能樹脂

液晶・光学用フィルム、自動車向け樹脂など出荷堅調  
 価格転嫁は、包装用フィルムで一部実現も、機能樹脂で遅れ

	06年度	07年度			増減
		上期	下期	計	
売上高	1,246	656	690	1,346	+100
営業利益	153	73	64	137 <sup>*</sup>	-16
(営業利益率)	12.3%	11.1%	9.3%	10.2%	-
減価償却費	65	34	36	70	+5
使用総資本	1,262	-	-	1,300	+38
(営業利益ROA)	12.1%	-	-	10.6%	-

(億円)

## ● 工業用フィルム

2Qから急回復。増勢続く  
 08/夏より新系列本格稼働  
 マスキング用フィルム新設備も稼働

## ● 包装用フィルム

需要堅調。3Q後半から価格転嫁実現

## ● 機能樹脂

エンプラは自動車向けで数量拡大  
 バイロンは電子材料向け需要堅調  
 光機能材も回復

\* うち残存簿価償却費負担増 (-6)

## ② 産業マテリアル

エアバッグ、機能フィルター、ダイニーマの拡大続く  
 タイヤコードは原燃料高で苦戦

(億円)

	06年度	07年度			増減
		上期	下期	計	
売上高	744	373	388	761	+17
営業利益	59	27	28	55 *	-4
(営業利益率)	8.0%	7.3%	7.2%	7.2%	-
減価償却費	34	18	20	38	+4
使用総資本	795	-	-	785	-10
(営業利益ROA)	7.4%	-	-	7.0%	-

- **エアバッグ用基布**  
 売上拡大も原料高で益率悪化
- **スーパー繊維「ダイニーマ」**  
 需要旺盛。08/1から新設備稼動
- **機能フィルター・不織布**  
 自動車、事務機器向け出荷堅調。  
 環境関連も受注伸びる。

\* うち残存簿価償却費負担増 (-3)

## ③ ライフサイエンス

## 医用膜が苦戦も、バイオ、医薬拡大

(億円)

	06年度	07年度			増減
		上期	下期	計	
売上高	326	163	177	340	+13
営業利益	56	26	25	51 <sup>*</sup>	-4
(営業利益率)	17.1%	15.9%	14.4%	15.1%	-
減価償却費	25	14	18	32	+7
使用総資本	368	-	-	360	-8
(営業利益ROA)	15.2%	-	-	14.3%	-

● **医用膜**  
競争激化により出荷伸び悩む

● **バイオ、医薬**  
血糖値測定用酵素は堅調持続  
診断システム新製品好調  
医薬新棟順調に稼動

● **アクア膜**  
ラービグ向け出荷完了  
大型案件(シュケイク)受注

\* うち残存簿価償却費負担増 (-2)

## ④ 衣料繊維

構造改革を計画前倒しで実行  
資産効率重視の経営徹底

(億円)

	06年度	07年度			増減
		上期	下期	計	
売上高	1,496	724	701	1,425	-71
営業利益	44	20	18	38 *	-6
(営業利益率)	2.9%	2.7%	2.6%	2.7%	-
減価償却費	26	15	16	31	+5
使用総資本	1,331	-	-	1,263	-68
(営業利益ROA)	3.3%	-	-	3.0%	-

## ● 機能衣料

中東向け織物輸出が好調持続

## ● 衣料ファイバー

構造改善効果

## ● アクリル繊維

価格転嫁図るも、減産等で減益

\* うち残存簿価償却費負担増 (-5)

## Ⅱ . 2008年度見通し

## (1) 業績予想

## 逆風下、減益幅を最小限に食い止める

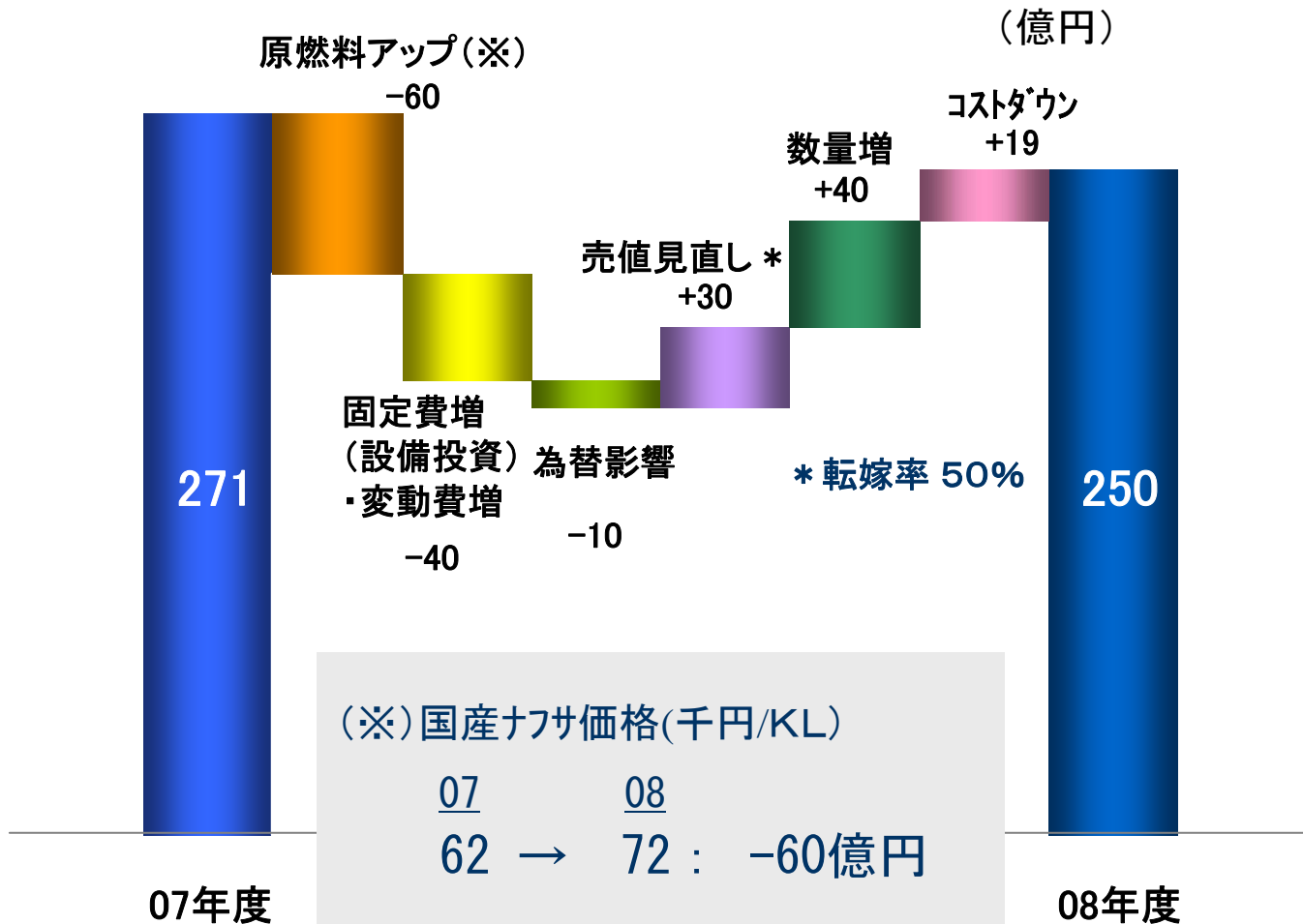
(億円)

	07年度		08年度予想		増減	
	上期		上期		金額	%
売上高	2,134	4,314	2,150	4,350	+36	+0.8%
営業利益	139	271	125	250	-21	-7.7%
営業利益率(%)	6.5%	6.3%	5.8%	5.7%	-	-
経常利益	115	210	100	200	-10	-5.0%
当期純利益	55	47	40	100	+53	+112.9%
EPS(円)	7.9	6.5	5.7	14.3	-	-
減価償却費	92	193	110	220	+27	+14.1%
設備投資	92	225	110	200	-25	-11.1%
EBITDA	231	463	235	470	+7	+1.4%
為替レート(円/US\$)		114		100		
国産ナフサ価格(千円/KL)		62		72		

(2) 営業利益増減要因分析(予想)

【07年度→08年度】

原燃料高騰を数量増と価格転嫁で吸収



### (3) セグメント別内訳

#### スペシャルティ事業の拡大持続

(億円)

	07年度		08年度予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
フィルム・機能樹脂	1,346	137	1,450	130	+104	-7
産業マテリアル	761	55	820	55	+59	+0
ライフサイエンス	340	51	360	48	+20	-3
スペシャルティ計	2,447	244	2,630	233	+183	-11
衣料繊維	1,425	38	1,320	32	-105	-6
その他	442	26	400	22	-42	-4
消去・全社	-	-37	-	-37	-	+0
合計	4,314	271	4,350	250	+36	-21



### Ⅲ. 05－07年度中期計画総括

## (1) 計画の達成度

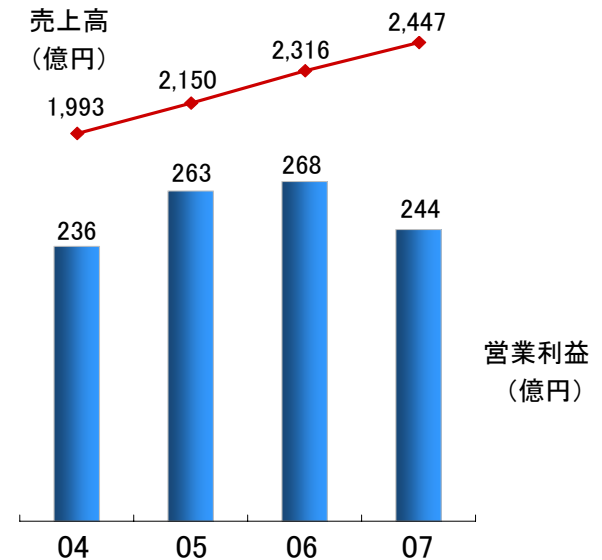
- ・環境変化大。事業間で対応力に差
- ・繊維事業の構造改革は着実に実行
- ・財務体質は計画通り改善中

### ①環境変化の影響(当初計画比)

原燃料高騰(04→07)	-206 (億円)
価格転嫁(60%)	123
残存簿価償却制度変更	-17
積み残し	-100

(億円)

### ②スペシャルティの業績推移



	04年度	中計 07年度	実績 07年度	計画比
売上高	3,937	4,500	4,314	-186
営業利益	288	380	271	-109
当期利益	122	180	47	-133
総資産	5,118	5,000	4,945	-55
ROA	5.6%	7.6%	5.5%	-
有利子負債	2,210	2,000以下	1,788	-212
自己資本	1,075	-	1,297	-
D/Eレシオ	2.1	1.5以下	1.38	-

## (2) 経営課題のレビュー

## 経営課題

## レビュー

## ■ スペシャルティ事業の拡大

	(億円)	
04→07増分	売上高	営業利益
(計画)	+550	+90
(実績)	+454	+8

- ・売上高は年率7%成長も、環境変化対応力に差
- ・成長策:工業フィルム、ダイニーマは計画通り。  
一部事業で投資効果遅れ、拡大投資不十分
- ・生産技術革新活動:利益を下支え

➡ **層別と重点化**

## ■ 繊維構造改革、ノンコア圧縮

	(億円)
07:営業利益	
(計画)	38 (08:ROA5%)
(実績)	38 (07:ROA3%)

- ・低収益事業圧縮により赤字撲滅に目処
- ・グループ一体で再編
- ・使用資本圧縮進行中  
繊維(06/3末→08/3末:約150億円圧縮)

➡ **08年度で総仕上げ**

## ■ 財務体質の改善

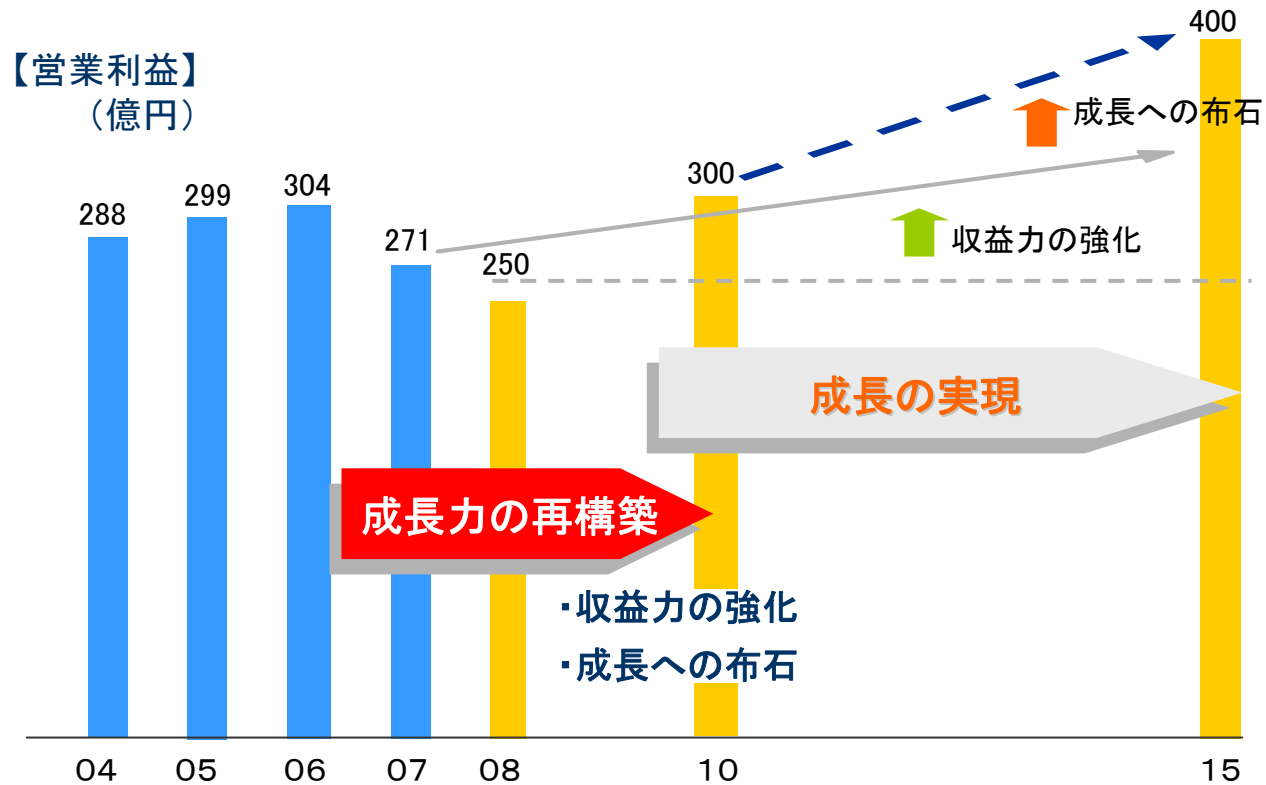
	(08/3末)
D/E レシオ	
(計画)	1.5倍以下
(実績)	1.38

- ・自己資本比率改善(04: 21.0% → 07:26.3%)
- ・有利子負債(04: 2,210億円 → 07:1,788億円)

## IV. 08－10年度中期經營計畫

## (1) 基本的考え方(位置づけ)

## 「成長力の再構築」に注力し、2010年以降に成長加速



事業ポートフォリオ改革

## (2) 経営方針と課題

### 経営方針：「成長力の再構築」

－よりスピード感ある判断と実行－

#### ■ 収益力の強化

- ・新設備の垂直立上げ
- ・既存開発テーマの掘り下げ・着実な成果
- ・価格転嫁、生産技術革新活動(50億円/年コストダウン)

#### ■ 成長への布石

- ・設備投資 600億円、R&D費 350億円(3年間)
- ・新事業創出(2015年:売上高250億円)
- ・グローバル展開(海外売上+200億円)、東洋紡STC活用
- ・M&Aほか外部資源の導入

#### ■ 資産効率の追求

- ・衣料繊維事業：事業分野絞込み(ROA5%基準)

#### ■ CSR体制の整備

- ・CSR中期計画

## (3) 定量目標(2010年度)

**売上高 4,600億円 営業利益 300億円以上、ROA 7%**  
**うちスペシャルティ事業：売上高 3,000億円(7%成長)**

(億円)

	07年度	08年度予想	10年度目標	年率 (07-10)
売上高	4,314	4,350	4,600	
うちスペシャルティ	2,447	2,630	3,000	7.0%
営業利益	271	250	300	
(率)	6.3%	5.7%	6.5%	
うちスペシャルティ	244	233	280	4.7%
経常利益	210	200	250	
当期利益	47	100	130	
営業利益ROA	5.5%	5%	7%	
D/Eレシオ	1.38	1.3	1.0	
為替レート(円/US \$)	114	100	100	
国産ナフサ価格(千円/KL)	62 <sub>23</sub>	72	72	

## (4) スペシャルティ事業の拡大策

		(億円)			
		主な事業	07年度 売上高	10年度目標 売上高	主な施策
重点 拡大	新規・育成	エレクトロニクス材料 アクア膜 バイオ・医薬 他	135	220	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新事業立上げ加速</li> <li>・外部資源活用</li> </ul>
	高成長	工業用フィルム ダイニーマ 機能樹脂 他	582	900	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新設備垂直立上げ</li> <li>・能力増強投資</li> <li>・海外展開加速</li> </ul>
	拡大	エアバッグ 機能フィルター 他	475	630	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代技術開発</li> <li>・M&amp;A</li> </ul>
安定・維持		包装用フィルム 医用膜 他	1,255	1,250	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争力強化</li> <li>・コストダウン</li> <li>・事業改革</li> </ul>
スペシャルティ計			2,447	3,000	

成長への布石

収益力の強化



## (5) 拡大策(主な設備投資)

## ・重点拡大事業に集中

事業	投資金額 (億円)	投資内容・能力	稼動時期
液晶光学用PETフィルム	100	+10,000 t /年	2008年夏
光学用無延伸PPフィルム	20	+4,000 t /年	2008年夏
ダイニーマ(日本ダイニーマ)	16	+600 t /年	2008年1月稼動
コーティング設備(東洋クロス)	15	能力増強	2009年春
工業用フィルム	100	能力増強、新商品	2010年
光学用無延伸PPフィルム	20	能力増強	2010年
エンジニアリングプラスチック	40	重合・コンパウンド、開発センター	2010年
エレクトロニクス材料(PAI)	20	事業化・量産化	2008-09年
ダイニーマ(日本ダイニーマ)	50	能力増強	2009-10年
エアバッグ用基布	30	原糸・加工能力増強	2008-09年
バイオケミカル(機能物質生産)	10	培養設備能力増強	2008-09年
アクア膜	10	能力増強	2009年

## (6) 拡大策(開発力の強化)

- ・開発こそが成長力の源泉
- ・全社横断でテーマ棚卸、資源再配置

### ■ 既存事業深耕 (2010年度までに成果)

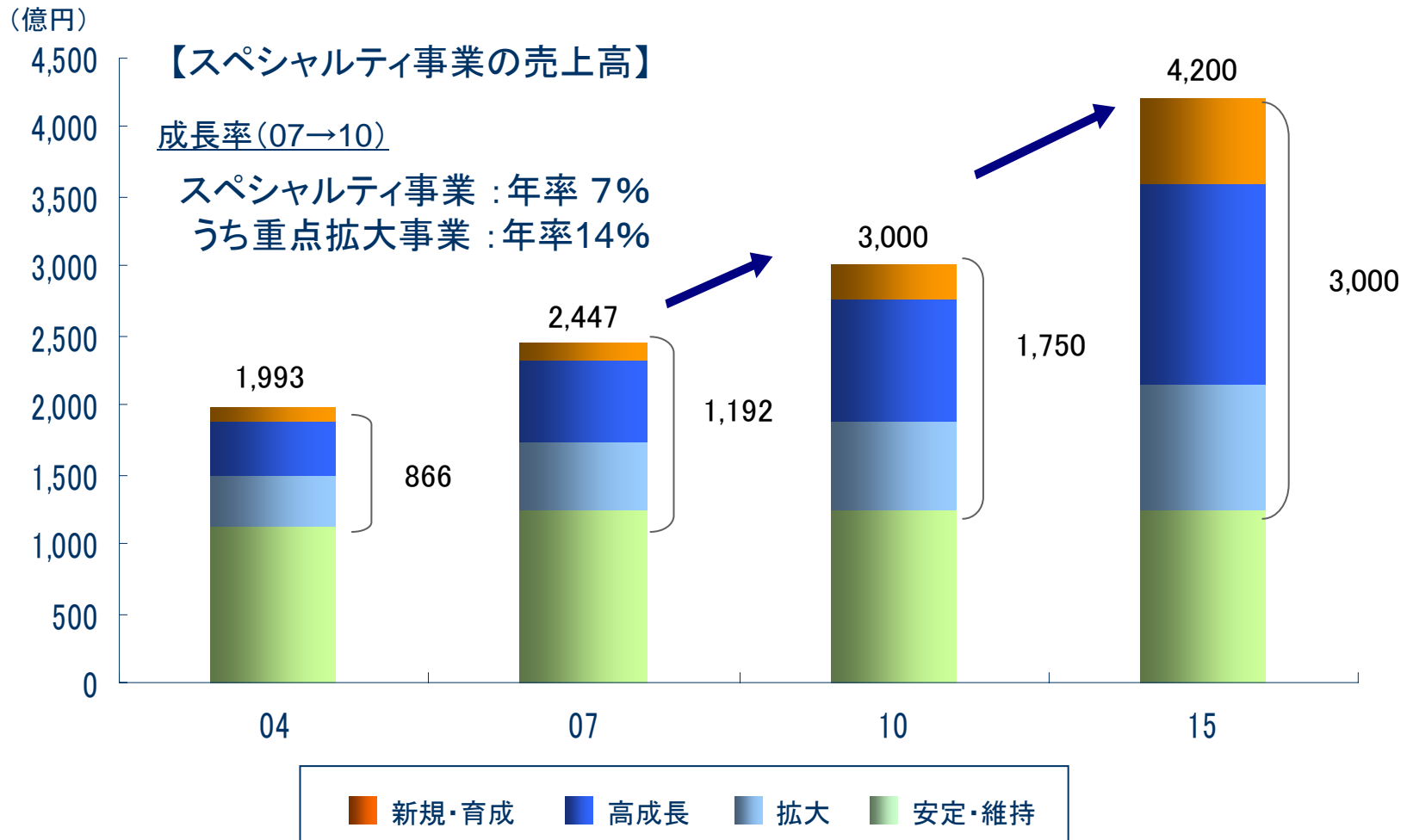
- ・全社で重点テーマの進捗管理・推進→早期利益貢献
- ・小型商品も徹底的に拾い上げる

### ■ 新事業創出 (2010年以降成果)

- ・市場: 電子・情報表示、自動車にフォーカス。環境が共通  
(ビジョナリーカスタマーとの取組み)
- ・次世代電子材料(ゼノマックス)の早期事業化
- ・新事業テーマ: 燃料電池膜、新世代分離材、新ポリマー
- ・M&A、アライアンス積極化

## (7) スペシャルティ事業の成長イメージ

## スペシャルティ事業:「一律拡大」から「層別・重点化」



## (8)めざす姿

### 新しい価値を創出する高機能製品メーカー

- 5つの事業ドメイン+新事業
- コア技術：重合・変性・加工・バイオ
- 社会的責任を果たし、社会に貢献する企業



## V. リスク情報

## (1) 訴訟関連

### <概要>

- ① 2003年6月、ザイロン繊維使用の防弾ベスト事故(米国ペンシルバニア)(貫通事故は1件のみ)
- ② 事故被害者、同種ベスト購入者等が、防弾ベストメーカー、当社に損害賠償請求を提起
- ③ 防弾ベストメーカーの元取締役が米国不正請求禁止法に基づく訴訟を提起、  
米国政府(司法省)がこの訴訟に原告として参加
- ④ 事故を起こしたメーカー以外の防弾ベストに関しても、米国政府(司法省)が訴訟を提起
- ⑤ 購入者からの集団訴訟は 原告団との和解成立(和解金等(約44億円)05上特損処理)  
事故被害者からの訴訟(PL関連訴訟)も、和解により解決
- ⑥ 弁護士費用 15億円(07年度)、15億円(06年度)

### <訴訟状況>

(08.5.8現在)

	クラスアクション	PL関連	政府関係		その他	政府関係
原告	購入者	ペンシルバニアほか 警官	アーカンソー州	米国司法省	セカンドチャンス	ドイツ2州政府
状況	和解成立 (05/10/26)	和解成立 (06/1、06/11、07/1)	訴状受取後 動きナシ	証拠開示手続	証拠開示手続	却下判決 (管轄なし) (07/4/13)
件数	10件	4件	1件	2件	1件	1件

補足資料

## 補1) 時系列データ

## 連結決算業績推移

		04年度		05年度		06年度			07年度		
		実績	対前期 増減率	実績	対前期 増減率	実績	対前期 増減率	うち上期実績	実績	対前期 増減率	うち上期実績
売上高	百万円	393,686	+5.5%	401,948	+2.1%	426,666	+6.1%	213,476	431,417	+1.1%	213,433
営業利益	百万円	28,782	+11.3%	29,887	+3.8%	30,435	+1.8%	15,243	27,075	▲11.0%	13,932
(営業利益率)		(7.3%)		(7.4%)		(7.1%)		(7.1%)	(6.3%)		(6.5%)
経常利益	百万円	21,589	+23.4%	24,580	+13.9%	25,342	+3.1%	12,831	21,049	▲16.9%	11,476
(経常利益率)		(5.5%)		(6.1%)		(5.9%)		(6.0%)	(4.9%)		(5.4%)
当期純利益	百万円	12,207	+39.3%	12,596	+3.2%	13,472	+7.0%	6,347	4,698	▲65.1%	5,546
(当期純利益率)		(3.1%)		(3.1%)		(3.2%)		(3.0%)	(1.1%)		(2.6%)
1株当たり当期純利益	円	17.58	+39.2%	18.10	+3.0%	19.32	+6.7%		6.73	▲65.2%	
自己資本当期純利益		11.5%		10.8%		10.4%			3.6%		
総資産営業利益率		5.6%		5.8%		5.9%		5.8%	5.5%		5.5%
総資産	百万円	511,813	+3.2%	514,791	+0.6%	513,191	▲0.3%	523,080	494,496	▲3.6%	509,652
自己資本	百万円	107,518	+3.3%	125,143	+16.4%	133,521	+6.7%	126,117	129,671	▲2.9%	135,660
(少数株主持分を除く)											
自己資本比率		21.0%		24.3%		26.0%		24.1%	26.2%		26.6%
1株当たり純資産	円	154.64	+3.6%	179.59	+16.1%	191.28	+6.5%	181.00	185.79	▲2.9%	
有利子負債	百万円	220,981	▲8.2%	206,172	▲6.7%	194,239	▲5.8%	211,975	178,842	▲7.9%	193,366
D/Eレシオ	倍	2.06		1.65		1.45		1.68	1.38		1.43
設備投資額	百万円	16,395	+23.0%	18,131	+10.6%	15,753	▲13.1%	7,400	22,486	+42.7%	9,188
減価償却費	百万円	15,528	+0.7%	15,656	+0.8%	16,938	+8.2%	8,283	19,274	+13.8%	9,203
研究開発費	百万円	9,201	+1.7%	10,079	+9.5%	10,426	+3.4%	5,101	10,877	+4.3%	5,459
従業員数	人	11,468		11,705		11,755		11,547	11,885		11,640



## 補2) 定量目標(セグメント別)

(億円)

	07年度		10年度目標		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
フィルム・機能樹脂	1,346	137	1,700	160	+354	+23
産業マテリアル	761	55	900	62	+139	+7
ライフサイエンス	340	51	400	58	+60	+7
スペシャルティ計	2,447	244	3,000	280	+553	+36
衣料繊維	1,425	38	1,200	40	-225	+2
その他	442	26	400	20	-42	-6
消去・全社	-	-37	-	-40	-	-3
合計	4,314	271	4,600	300	+286	+29

## 補3) 主な事業戦略

セグメント / 事業	課題
フィルム・機能樹脂	
工業フィルム	FPD関連能力増強、次世代技術開発、新分野拡大
包装フィルム	工業用シフト、食品用:シェア拡大
機能樹脂	グローバル化、エレクトロニクス材料事業化
産業マテリアル	
ダイニーマ	積極拡大 (能力 1,600 → 3,200 トン、日本ダイニーマ)
エアバッグ	海外アライアンス、能力拡大
機能フィルター・不織布	環境、自動車関連を中心に拡大
ライフサイエンス	
医用膜	開発強化
アクア膜	中東の受注拡大、上水膜参入
バイオ	新事業加速、積極的なM&A
医薬	受託拡大、抗体医薬立上げ
衣料繊維	
東洋紡STC	機能衣料分野への絞込み、スペシャルティへシフト
その他	事業見極め、使用資本圧縮

## 補4) 新事業創設を狙う分野

セグメント／事業		市場					
		自動車	電子・ 情報表示	環境	生活 安全	ライフ サイエンス	
フィルム・ 機能樹脂	機能フィルム	エンプラ	液晶光学用PET	PET新触媒	食品包装用		
	機能樹脂		工業用CPP				
	次世代電子材料		工業用接着剤				
産業 マテリアル	エアバッグ用基布	エアバッグ用基布	エンジン用 キャビン用	溶剤回収装置、 バグフィルター	高強力PE繊維		
	スーパー繊維						
	機能フィルター						
ライフ サイエンス	バイオ	RO膜、上水膜	次世代分離材料	機能タンパク質	診断システム	医薬製造受託	
	医薬						人工腎臓用中空糸膜
	医用膜						
	アクア膜						

高耐熱  
ポリイミド系フィルム

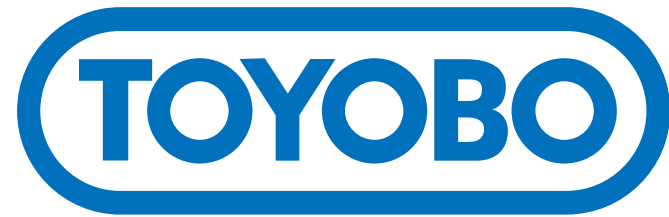
燃料電池膜

次世代分離材料

## 本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡績株式会社



All Rights Reserved